

## 公開授業のご案内

(主催、奈良教育大学・川上文雄政治学教室)

「政治学概論」特別講義

### 「奈良市の財政悪化の真相を探る（連続講義）」

お話 浅野 詠子（ジャーナリスト）

とき 2014年12月11日（木）午後1時～2時30分

#### その1「学生の手作り白書が投げかけたもの」

12月18日（木）午後1時～2時30分

#### その2「財政の主権者になるために」

場所 奈良教育大学（奈良市高畠町）講義2号棟（L2）2階 206号室

申し込み 不要

#### ○…教室でつくった財政白書について…○

「講師より」

まずは、私たちの奈良市の財政がどのくらい悪化しているのか、「将来負担比率」という数値で示し、お隣の生駒市と比較してみます。

奈良市は200%近い（24年度）けど、生駒市は、この比率が発生していません。つまり、非常に借金が少なく、健全なお財布事情と言えるのでしょうか。全国の市町村平均は100%程度です。数値が高いほど深刻で、350%を超えると国の指導を受けます。

おかたい話に聞こえるかもしれません、住んでいる自治体の財政と向き合うことは、大事な参画であり、まちづくりを展望することに他なりません。ぶ厚い予算書や決算書の数字は、どう見ても無味乾燥ですよね。あらわれる用語も難しく感じられます。

私は2009年から12年まで本学の非常勤講師を務め、学生という市民の目で、財政白書をつくる授業に取り組みました。誕生した『学生が探る奈良市のお財布事情』および『ふるさと府県のお財布白書』を活用し、このたびの公開授業では、社会人のみなさまと共に財政悪化をもたらす「塩漬け公有地」、財政健全化につながる議会改革などを探ります。